

# 辻 泰弘 国会ニュース

つじ やす ひろ Kokkai News 2006年7月14日 NO. 52

## 参議院予算委員会 (6月15日) 質疑報告

### ◎ 5年間の小泉改革に「愛情といやし」の精神はあったか!!

辻 泰弘: 森前総理が、「小泉総理は心配りしないから皆傷ついた、次期総理は愛情といやしの精神で運営を」と述べたが、どう受け止めたか。

小泉 総理大臣: 新聞は間違い多い。本当と受け取り答弁する立場にない。

辻 泰弘: 5年間の小泉改革は、愛情といやしの精神に満ちた改革だったか。

小泉 総理大臣: 非情と思われることも国民に温情だと将来理解されると思い政治を担当してきた。

辻 泰弘: 小泉改革はセーフティネット不備。改革なき負担増。結果は格差拡大。生活・暮らし見つめず。



### ◎ こっそり「小さな政府」の旗を降ろすのは変節! 極めて不誠実だ!!

辻 泰弘: 小泉内閣の看板は「小さな政府」。総選挙時の公約でもあった。「政府の大きさ」は一般政府の支出規模のGDP比だが、経済財政白書では日本は先進国中で小さな政府と分析。

民主党は「単純な小さな論」にくみさない。教育・福祉にはしっかり予算を使うと主張してきた。

最近、与党議員の「小さなという看板をはずした意味は何か」との質問に対して、官房長官は「小さな政府は給付と負担を外に出すとの誤解生む。簡素で効率的な政府という言葉を使うことに決定」と答弁。格差拡大が出て、旗色が悪くなったから、スロガンを闇に葬るのではないか。

小泉 総理大臣: 民主党が大きな政府を公約に掲げて政権交代が実現するとは思わない。

辻 泰弘: 民主党の議論はまた別だ。政府が看板をこっそり下ろすのは変節。極めて不誠実だ。

### ◎ 社会保険庁の不正手続は不十分な小泉改革の帰結! 改革案は作り直せ!!

辻 泰弘: 今回の社会保険庁の不正手続の中で見られた徴収面の不備、体制の不足は、2年前の小泉内閣の年金改革が抜本改革でなく、極めて不十分な改革でしかなかったことの証左だ。

小泉 総理大臣: 政府は必要な改革をしてきたと思っている。

辻 泰弘: 総理は、社保庁の抜本的見直し、解体的出直しを強調してきたが、それでは済まない。

小泉 総理大臣: 解体的見直しは正しかった。足りない点を良くしていくことにはやぶさかでない。

辻 泰弘: 社保庁改革は白紙に戻しゼロから作れ。社保庁は法令遵守への努力が欠けていた。

### ◎ 基礎年金を全額税方式とする年金制度の抜本改革を行うべし!!

辻 泰弘: 民主党は2年前の年金制度改革で、一元化・最低保障年金・国税庁と社保庁の統合を主張。基礎年金(最低保障年金)の全額税方式化で徴収対策、無年金対策が抜本的に改善。

民主党の改革案なら社保庁の不正は全く起こらなかった。全額税方式とする抜本改革行うべき。

小泉 総理大臣: どんな改革も一長一短。全額税方式がいいとは簡単に言えない。賛否両論あり。

### ◎ 国民生活を見つめず、デタラメでいい加減な小泉改革だった!!

辻 泰弘: 小泉改革は、理念でも、年金などの具体策でも全くデタラメでいい加減だったと総括せざるを得ない。我々は、国民生活をしっかり見据えた改革の実現にこれからも取り組んでいく。

小泉総理への最後の質問は翌日の新聞各紙も掲載。本号は下記ホームページに収載。

兵庫県事務所 TEL 078-230-8824 東京事務所 TEL 03-3508-8402 <http://yasuhiro-tsuji.jp/>